



2009 ~ 2010 年度
R I テーマ

The Future of Rotary Is in Your Hands
ロータリーの未来はあなたの手の中に

国際ロータリー会長 ジョン・ケニー (国籍・スコットランド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ トキハ別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 近藤 賢司	理事 大野 雅治	役員 会長 近藤 賢司	S A A 大野 雅治
〃 木村 きぬゑ	〃 鳴海 淳郎	副会長 木村 きぬゑ	直前会長 平野 英壽
〃 亀井 孝	〃 後藤 隆	幹事 高宮 勝美	
〃 村津 忠久		会計 河村 貴雄	

VOL. 22-44
2010年6月22日

第 1007 回 例会

会報委員長 森 宗明

- ◆点 鐘 12 : 30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 手に手つないで
- ◆唱 歌 かたつむり
- ◆B. G. M 「Moonlight Love」より
愛の誓い
星空のブルース
ラ・メール 他
- ◆ゲスト 塩地亜希子さん (2010-2011年度
R財団国際親善奨学生/ピアニスト)

会長の時間 会長 近藤 賢司

来週が会長幹事慰労会ということで、事実上、今週が最後の例会と思っています。塩地さんが参加してくれ、最後の例会に花を添えてくれることに大変感謝していますが、本日は出席者が少なくとっても残念です。

顧みればこの一年、私にとって忙しくはありましたが、とても勉強になった一年間でした。頼りない会長を幹事他皆様で支えていただき本当にありがとうございました。

幹事報告 幹事 高宮 勝美

—ロータリー親睦活動月間—

- 本日の卓話
「近況報告」 2010-2011年度 R 財団国際親善奨学生/ピアニスト 塩地亜希子さん
「日本と経済」 近藤賢司会員

◆出席報告 出席委員長 梅津ヤヨイ

本日 の 出 席	会 員 総 数	19 名
	出 席 者	11 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
出 席	欠 席 数	7 名
	出 席 率	61.11 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	83.33 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	83.33 %

連 続 - 回
通 算 738 回 100 %

・メイクアップ

事前
事後
欠席 平野、栴田、亀井、中尾、大島、
森園、衛藤
出席免除 溝部

- 本日のゲスト
塩地亜希子さん (2010-2011年度 R 財団国際親善奨学生/ピアニスト)
- 会員事業所移転のお知らせ
亀井 孝会員の事業所が下記の通り変更となりました。
旧住所：〒870-1153 大分市小野鶴赤岩1983番地
↓



新住所：〒874-0920 別府市北浜3丁目11-25 有限会社アーク
TEL0977-24-7711 FAX0977-24-7710 メールアドレスarc@herb.ocn.ne.jp

4. 2010-2011年度 R I 第2720地区会員増強セミナー開催のご案内

日時 平成22年7月24日(土)

登録受付 12:00~13:00

セミナー 13:00~16:30

場所 別府大学 別府キャンパス 3号館ホール
別府市北石垣82 (☎67-0101)

登録義務者 次年度クラブ会長、幹事、クラブ増強委員長、希望者

登録料 1クラブ 3,000円

5. 2010-2011年度 R I 第2720地区指導者育成セミナー開催のご案内

日時 平成22年8月1日(日)

登録受付 12:30~

セミナー 13:00~17:00

場所 アイネス(大分県消費生活・男女共同参画プラザ)2F大会議室
大分市東春日町1-1 ☎097-534-4034

登録義務者 現在、または将来のクラブのリーダーとなる方(地区委員も含む)
(会員増強セミナーの出席者を除く)

登録料 1人 1,000円

6. 2009-2010年度「皆勤お祝い」※対象者の方に記念品をお渡し致します。

平野 英壽会員(H21年9月19日=20年)

後藤 隆会員(H22年5月22日=20年)

森 宗明会員(H21年1月10日=15年)

津末美代子会員(H21年1月18日=10年)

7. お祝い(次週、夜例会の為、2週分合わせてお祝い致します。)

会員誕生日 衛藤秀子会員(6月25日)

亀井 孝会員(6月27日)

配偶者誕生日 森 北実さん(6月30日)

※記念品をお渡し致します。

8. 例会変更のお知らせ

大分城西RC 6月30日(水)の例会は、定款第6条第1節(C)に基づき休会

9. 次週例会の予定

「会長・幹事慰労会」

※時間・場所を変更し、18:30~ホテル山水館に於いて開催致します。

10. 本日の回覧

①「会長・幹事慰労会」出・欠席(6月29日)

②くにさきRC 週報

11. 本日の配布

①ロータリー探究「ロータリーの特別月間(Special Months Rotary)について」

鳴海淳郎R情報委員長より

②ガバナー月信No.12

③週報No.1005,1006

スマイルボックス 副委員長 後藤 隆

○木村会員

塩地亜希子さん、いらっしゃい。ピアノが聞けたらいいのにナー。贅沢か?頑張ってくださいね。

○高宮会員

塩地さん、大学合格おめでとう。昨日帰国して本日の例会出席、無理を申しましたが、「本日の卓話を楽しみにしています。」

○村津会員

先週のスマイルでご報告いたしました「我が家中庭のヒヨ」一家ですが、16日朝、3羽の雛が孵化し、親鳥が交互にせっせと餌を運んでおりましたが、20日・日曜日の朝、小さいながらも元気に巣立ちしたようです。

無事の成長を祈りスマイル。

○大野会員

皆様、今日は予想に返して良い天気ですね。今年からキクラゲもやる予定ですので、又報告致します。

椎茸の収穫は障がい者の皆さんにもお願いし、一緒にやる予定です。応援してください。

○森会員

家内の誕生日祝い、ありがとうございます。

○河村会員

先週、ニューヨークへ行ってきました。セントラルパークのオープンカフェで朝食をとり、昼は5番街で買い物をし、夜はブロードウェイでミュージカルを鑑賞し、ハーレムでジャズを満喫した一週間でした。感謝してスマイル。

○平野会員

塩地さん、おかえりなさい。オーストリアに行ってもがんばってね。



日本と経済

皆様は経済人ですので知っているかもしれませんが、最近の日本はおかしい、貧しくなったという声を多く聞くので、私なりに調べてみたところ、今でも日本は世界第2位の経済大国であります。ただし、近年中に中国に第2位の座を明け渡すことになると思います。これは、GDPが世界2位ということですので、国内総生産が国レベルで第2位ということです。



それでは、戦後の経済を振り返ってみましょう。1945年に終戦をむかえた日本の復興は早く、焼野原の国土をわずか10年で立ち直らせました。勤勉さと基礎学力の高い日本人だから成し得たことでした。1956（S31）年、国連に加入し、1956年から高度経済成長（「東洋の奇跡」といわれた）がはじまり、この間、GDPは大きくなり、給料が増えた分を貯蓄にまわし、それを企業が借り、設備投資にまわし、年々増産してGDPは増大しました。そして高度経済成長を成し遂げた背景には労働人口があり、人口構成はピラミッド型をしている上に、3チャン農業といって農業はジーチャン、バーチャン、カーチャンがしてトーチャンは都会に出稼ぎに行くという図が成り立ち、大きくなる日本の経済を支えています。

そして、1973（S48）年にオイルショックがおこるまで伸び続けたわけです。この1956年から1973年というのは団塊の世代が小学校に入学して大学を卒業する間とほぼ同じ時期であり、今と違うエネルギーを感じます。オイルショックで油の価格が上がり、一時的に経済は停滞しますが、それでも日本は徐々に回復し、1990年バブル崩壊まで伸び続けるわけです。

その後が失われた10年といい、無策に税金が不必要な利権がからんだ公共事業等に費やされてきましたが、その後に現れた小泉内閣の時に株価は1万円から1万8千円に回復し、失業率が下がり、有効求人倍率は1.02となり100人の求職者に102社の求人があるところまでになりました。現在は有効求人倍率が0.5を切って、2人に1人は仕事にありつけない時代です。安倍・福田・麻生と短命内閣が終わり、国民は自民党をみかぎって

民主党内閣が誕生しました。鳩山内閣も短命で現在、国民は新しく誕生した菅内閣に期待せざるを得ません。

この10年の間に国別のGDPは世界2位ではありますが、国民一人当たりになおすと6位→19位に落ち、1993年に1位だった国際競争力ランキングも現在27位に下がり、8位・台湾、18位・中国、23位・韓国の後になってしまいました。これは、GDPが減少傾向にあるのだと思います。以前は日本国内で綿花を作り、2500円で布に織り2500円でジーンズに縫製して2500円で消費者に売ればGDPは10000円でしたが、現在は中国の綿花で中国で布を織り、中国で縫製したものを日本で売るわけですから、中国のGDPは7500円、日本のGDP（儲け）は2500円です。企業は人件費と税金の安い海外に工業を作り、外国人を雇うわけですから、国内には仕事につけず人があふれる、いわゆる空洞化現象がおきるわけです。我々は今後、税金の正しい使い道を監視し、日本が先々繁盛していくように指針を示す政治家を選んでいかなければならないと思います。

2010-2011年度 R財団国際親善奨学生/ピアニスト

塩地亜希子

ご無沙汰しております。

ここ何ヶ月か、国際親善奨学生としての準備をしておりましたので、ご報告させていただきます。まず、ドイツ語試験の受験とビザ取得準備のために大阪に行き、両方とも無事パスしました。その後、5月末より、音大入試のためにオーストリアに行き、無事入試も合格することができました。

5月のヨーロッパというのは、「ヨーロッパで一年間を通じて最も美しい季節」と言われていますが、なんと今年の5月は雨続きで寒かったようで、私が到着した日も雨。そして、

着くやいなや寒くて、前もってそれを危惧していた私は、用意していたトレンチコートを着て、ショートブーツに履き替えました。

入試までに時差ぼけを直して、体調を整えなければいけないので、入試の約10日以上前にヨーロッパ入りをしたわけですが、その間の天気の違いは格差が激しすぎて、まいてしまうも





のでした。雨で寒くて、タートルネックにコートを着ていたかと思えば、次の日には快晴で、日差しが強く、Tシャツに短パン、サンダルでないととても暑くていられない日だったりするのです。晴れているけれどもまだ寒いだろうと、うっかり厚着で外にでると大変で、それにいつもちゃっかり適応しているヨーロッパ人はさすがだ、とよく思ったものです。

入試は、実技のピアノしかありません。約60分の演奏プログラムを用意し、会場で教授陣たちから、その場でその曲目の中から曲を指示され、演奏します。

日本で入試というと、とても堅苦しくて、緊張した雰囲気を感じて浮かべますが、オーストリアでの入試というのはそうでもありません。先生方は、笑顔でリラックスして聴いてくださるので、弾くこちら側も楽しく弾くことができます。

今度行く学校は、オーストリアのフェルトキルヒという町にある、フォーアアルベルク州立音楽院というところです。この音楽院を選んだ理由は、フィレンツェ・ボグナー先生というピアニストがここで教えており、私は彼にどうしても師事したかったのです。彼は、毎年群馬で行われている草津音楽祭にきて、演奏会とマスタークラスを行っています。彼がすばらしいピアニストであることは知人を通じて知り、音楽祭で彼の演奏を聴いて、感銘を受けたのが始まりです。

フェルトキルヒという町は、小さい町ですが山々に囲まれて自然の多い美しい町です。近くには、東京23区の4分の1の大きさしかない国であ

るリヒテンシュタインがあり、バスで20分もすれば行くことができます。

無事入試を終えてから、フェルトキルヒから特急で約1時間半で着く、スイスのチューリッヒに友人を訪ねてきました。チューリッヒは町自体は大きくはありませんが、都会でお店もたくさんあって、活気があって、裕福な町という印象を受けました。なぜなら、高級ブランドが立ち並んでいるし、通貨はスイスフランですが、物価が日本円に換算すると高いのです。

今ヨーロッパでは、アスパラガスが旬ですので、それをしっかり食して帰ってまいりました。緑の一般的なアスパラガスとともに、新鮮な白いアスパラガスがあります。

菌ごたえがなんとも言えずおいしく、リゾットにしたものをいただきました。

そうこうして、日本へ帰国してまいりました。

次は7月の末には渡欧し、一ヶ月ほどドイツ語学校に通い、9月からは学校が始まります。

すでに、先生からたくさんの課題と演奏会のご依頼を与えられて、わくわくしています。

またオーストリアのロータリーの方や、地元の方と国際親善することも、とても楽しみにしています。こういった経験ができるのも別府中央ロータリークラブをはじめとする、ロータリークラブの皆様のおかげですので、本当に感謝しております。

一年間がんばって活動してまいりたいと思っています。

どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

会員コラム

鳴海 淳郎

わたしの好きな言葉

“Nothing but the best”

これ以上良いものはない・・・ジョン・ハイリッグ著「メルセデス・ベンツ 栄光の歴史」という本（2000年11月発行）のタイトルより取った言葉ですが、それには次のように書いています。即ち、『100年という時代の中で変化しながら、しかも、どの時代にも常に最高の水準を守り続けてき。これは自動車業界では他に類をみない。それが、メルセデスを“この比類なき存在”と呼ぶ理由である』と。

わたしはこれを読んで、製造業の場合は「これ以上の良いものはつukれない」という気持ちで、サービス業の場合は「これ以上のサービスはできない」という気持ちで努力すること、医師の場合は「患者さんのために現時点で最善の医療を施す」よう努力することであると信じ、これを仕事に生かしています。

“To dream a new dream”（新しい夢をみようよ）

これはロータリアン誌（1990年10月号）からとった言葉ですが、ロータリー財団管理委員会が1990年6月の会合で、ポリオ・プラス・プログラムの目的に関し、次のような声明を採択しました。

“To dream a new dream” 「新しい夢を夢見て・・・ロータリーは相違をつくる」と題するこの声明は、ポリオを単に制圧するだけでなく、根絶するという新しい夢をもって引き続き援助を必要とする諸国にワクチンを供給すると述べ、国際ロータリーは2005年に100周年記念とポリオのない世界、即ちpolio-free worldという二重の慶びを味わうことになるとしたのです。

この2つの言葉は、ロータリーの心を自分の職業に生かすために心がけている、わたしの大好きな言葉ですが、地域のために何か良いこと、新しいことが出来ないか、常に新しい夢をえがきながら毎日の仕事にベストを尽くすよう心がけています。